

大切な土台造りを願って

校長 石村 直義



4月、菜の花や桜の花に春の明るさとうららかなさを感じつつ、この学校に連なる皆さんが新しい気持ちでその歩みを始めておられることと思います。私も校長として新たな思いでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

新入生の皆さん、活水へようこそ、ご入学を心から歓迎いたします。この学び舎(や)に連なることによって、皆さん自身と、将来にわたり皆さんに関わる多くの人にしあわせが溢れますように。

活水学院は、「知恵と生命との泉—主イエス・キリスト—に拠(むす)べよ」という言葉をスクールモットーにしています。創立者であるエリザベス・ラッセル宣教師が、信念の拠り所としたキリスト教を建学の精神とし、これを常に教えていたことに由来します。人が生きるために必要な知恵や生命を、決して尽きることがないイエス・キリストという泉から汲みなさいと教えたのです。そして、創立145年目の2024年度は「渴いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。(ヨハネによる福音書7章37節)」という聖書の一節が学院聖句に掲げられました。原点を大切に見つめようという願いと祈りです。

中学生・高校生という時期は、長い人生の中でその土台を築いていく時と言えるでしょう。様々な学びや経験を通して、その後の自分のベースとなる心と身体とを造っていく時です。順風満帆なことばかりでは無いかもしれませんが。時には失敗することや辛いこともあるでしょう。しかし、そうしたことすべてが貴重な糧(かて)になって自分の未来を支えるものになると信じます。活水は、その土台の確かさをイエス・キリストの教えに委ねました。この学院に連なる皆さんがその確かさに招かれています。

この1年度の活水高等学校・活水中学校での学びと交わり、すべての教育活動において、皆さん一人ひとりが自己を磨き、日々の努力と達成感をもって大きく成長し、自分自身を大切にすると共に、自分の隣にいる仲間を大切にしたい歩みが成されますように。皆さんの土台造りが確かに進められる1年となることを心から願っています。

中学卒業式

3月13日(水)チャペルにおいて第77回中学校卒業式が行われ、二十名の卒業生がそれぞれの進路へ心新たに羽ばたいていきました。午前10時、ガーベラのコーサージュを胸にした卒業生が、後輩の1・2年生、保護者・家族の見守る中、ピアノのマーチで整然と入場、讃美歌を歌い、学院宗主任により聖書の朗読と、感謝・願いの祈りがささげられ、礼拝の形で式は進みました。一人ずつ名前が呼ばれた卒業生はステージ上で安部校長から卒業証書を受け取りました。校長式辞、院長祝辞、1・2年生の合唱に励まされ、卒業生代表の山越さんが感謝の辞を述べました。(石村直義)



感謝の辞

私たちは今日、卒業の日を迎え、新しい未来へ羽ばたこうとしています。私たちにとって活水で過ごした3年間は、授業や様々な行事を通して、想像していた以上に、思い出に残る充実した日々となりました。入学した当初は、新しいクラスメイトと仲良く学校生活を送ることが出来るのか、不安な気持ちを抱えていました。しかし、時間が経つにつれ、私たち二十人の仲は深まってきた、学校生活が楽しいと思えるようになりました。



入学した当初から、コロナウイルス感染症の影響で、行事は中止または縮小で行われました。今までと同じようには行われたいという悔しさを抱えていましたが、それでも私たちは、何事にも全力で取り組んできました。

3年間過ごす中で、時には先生方にご指導いただくこともありましたが、二十人で笑いあいながら仲を深めていったことが、かけがえのない宝物になりました。

私たち二十人は、それぞれの未来に向かって、この活水中学校を卒業します。この先の道を歩んでいく中で、時には失敗を経験したり、思い悩むことも出てくるかもしれませんが。そんな時に、この活水中学校で出会った仲間との忘れられない思い出や経験が、大きな力を与えてくれると信じています。これからも活水中学校が、希望に満ちあふれた豊かな場所であり続けることを願って、感謝の辞とさせていただきます。
活水中学校第77回卒業生代表 山越 理央 (鈴木洋一)

中学お別れ行事～ありがとう中3～

3月7日(木)、生徒会長武富さんの開会挨拶の後、お世話になった3年生についての紹介のスライドショー(動画)、手紙と花束の贈呈、記念撮影と続きました。動画作成は、中学生徒会が呼びかけて、写真や言葉を集め、特に2年生が3年生との交流の中で感じたことを丁寧に編集したメッセージが映し出されました。シオンホール of 空気感が変わり、3年生一人ひとりからお別れのメッセージが続くごとに、感涙に溢れた美しいひとときとなりました。(岩永崇史)



今月の聖句

渴いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。
 ヨハネ 7章37節

水は人間生活になくてはならないものです。水は私たちの体の渴きを潤し、命を支えるものです。水は荒野をも農業ができる地に変えられます。水は小さな泉から湧き出るが、やがては川になり、その勢いを止めることはできないのです。水のない世界を生きることはできません。

イエス様は「渴いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい」(ヨハネ7章37節)とご自身を水にたとえています。人間が覚える渴きはそれぞれ違うと思います。絶望、無力、病などがあげられるでしょう。これらのものは人間の心を 傷めます。イエス様は私たちの命であり、歩みを支える力であることを学院聖句は教えるのです。(崔炳一)

5月行事予定

2(木) 身体測定・体力テスト

3(金) 憲法記念日

4(土) みどりの日

5(日) こどもの日

6(月) 振替休日

13(月) 中間考査

(中学14日まで・高校15日まで)



4月行事予定

5(金) 新入生オリエンテーション②

8(月) 始業式(午前)・入学式(午後)

9(火) 特別時間帯

10(水) 全校各種委員会

16(火) 高Ⅲ進路説明会・学級PTA

17(水) 特別時間帯・避難訓練

18(木) 高Ⅰ・中ⅠX線・心電図検査

19(金) 高Ⅰ・中Ⅱ学部活動紹介・表彰

11(木) 高ⅡⅢスタディーサポート

12(金) 通常授業開始・一次検尿①

15(月) 歓迎行事

16(火) 面談週間(19日、40分授業)

17(水) イースター礼拝

20(土) 歯科検診①

24(水) まるごと活中体験①

26(金) 歯科検診②

29(月) 一次検尿②

昭和の日

中学修学旅行～ゆいまーる～

中学校の修学旅行は、2月28日（水）から3月1日（金）沖縄の歴史・文化・自然を学び、寝食を共にしながら、生徒全員が健康に守られ、充実した2泊3日を過ごすことができました。

○見学地：対馬丸記念館、ひめゆりの塔・平和祈念資料館、美ら海水族館、チビチリガマ、シムクガマ、座喜味城跡、摩文仁の丘、おきなわワールド

（岩永崇史）

（生徒感想）

- ・沖縄の平和について現地で学ぶことができました。
- ・全て印象に残る素晴らしい場所でした。
- ・シンバイザメが大きくてびっくりした。



球技大会盛り上がる

バスケットボールの球技大会が3月18日（月）行われました。中学は学年縦割りにして赤対青で勝負し、36-



30で青が勝ち、優勝しました。高校は学年で予選リーグを行い上位2クラスが決勝トーナメントに上がり、準決勝ではII C- I B、II B- I Cが対戦し、どちらもII年生が勝ち上がりました。決勝は手に汗握る熱戦で最後の班でII Cが逆転し24-22で優勝しました。みんな楽しくバスケットボールで盛り上がり、学年を締めくくることができました（平野智也）

音楽プログラム生コンサート

3/10(日)15:00より『活水女子大学音楽学部提携プログラム「活水高等学校音プロ生による演奏会vol.3」』が、東山手キャンパス小チャペルにて開催されました。出演者は音プロ受講生、I年生3名・II年生5名の計8名でした。

ピアノソロをはじめ、合唱や管弦アンサンブル等、幅広いジャンルの曲が演奏されました。プログラム構成も自分たちで企画・実行し、とても達成感のある充実したイベントとなりました。（杉町たまみ）



中学ダンス発表会

3月7日（木）に中学ダンス発表会を行いました。今年のテーマは、「風令場ッス（プレイバック）」で、昭和や平成の曲も取り入れて構成しました。各クラス、基本作品「マヅルカ」の隊形移動と創作ダンスを、ダンス委員を中心に仕上げ、発表しました。中学最後の行事となり、いい思い出に残るダンス発表会となりました。順位は、以下の通りです。

（向井杏奈）

- 1位 中3
- 2位 中2
- 3位 中1



吹奏楽 潜水艦入港歓迎行事

3月28日（木）水辺の森公園で行われた潜水艦入港歓迎行事で演奏しました。演奏後は艦内を見学するという、貴重な経験をさせていただきました。広島から入港した潜水艦ですが、長崎には10年ぶりということで多くの報道陣も来ていつもより緊張の中での演奏でした。1曲目はマーチの王道スーザの「星条旗よ永遠になれ」でした。演奏後にいただいた盛大な拍手に安堵し、いつもの活水平笑顔で演奏できました。（杉町たまみ）



高I、高II探究大賞発表会

3月13日（木）に高校II年生、14日（金）に高校I年生が活水探究大賞発表会を行いました。高Iは「長崎」をテーマに、高IIは各自の興味・関心を「自分の進路」に結び付けて課題を設定しました。3月初旬に選考会を行い、高Iから8チーム、高IIからは9チームが選出されました。探究大賞を受賞したのは、高Iが「活水の新入生を増やそう」を発表したIA特進出口ドリル班、高IIは「ペット共生を目指す新しい長崎」を発表したIIA特進の小島穂花さんでした。今回の探究活動がこれからのみなさんのキャリア形成に活かされるといいですね。

（生徒感想）

・まさか大賞を取れるとは思っていませんでした。話し合っていくうちに、身近な感じで意見が出やすいものにしよう、そして自分たちでも解決できるものにしようというテーマが決まっていきました。4月にマインドマップを作成したときは、意見を伝えることもぎこちなかったけど、この一年を通して自分の意見を伝えたり、相手の意見を取り入れたり、みんなの意見を一つにまとめることができるようになりました。（IA特 出口ドリル班）



・いろいろな人に手伝ってもらい感謝しています。最初はテーマを絞れず、サイトを片っ端から調べていきました。情報を取捨選択していく中で、確かな情報を見極めることができるようになりました。大学生からのアドバイスもあり、自分の体験から自分の心が動くことをテーマにできました。プレゼンの際には、どのような流れで説明していくとみんなの頭に入っていくやすいかを考えました。この活動を通して大学を志望する理由やこれからしていきたいことが明確になってよかったです。（IIA特 小島穂乃香）



活水高等学校・中学校マスコットキャラクター決定！！

先日、校内で募集していた、マスコットキャラクターが決定しました。たくさんの応募の中から、高III 中村輝良莉さんのデザインした『キラリちゃん』、サブキャラクターとして高III 道本礼愛さんのデザインした『スイちゃん』がマスコットキャラクターとして決定しました。これから色々な場所に登場するキラリちゃんとスイちゃんを、皆さんよろしくお願いいたします。

（常泉晶子）



キラリちゃん



スイちゃん

大会等成績

〈サッカー〉

長崎県女子サッカーリーグU-18 2部 優勝

〈弓道〉

長崎地区弓道選手権大会

高校女子団体 優勝 弓道部活水Aチーム

（濱松美幸・今出いくみ・平田明日羽）

第2位 弓道部活水Hチーム

（酒井乙葉菜・松尾理央・高田優愛）

高校女子個人第5位 II B 濱松美幸

優勝弓争奪近県弓道大会

高校女子の部 個人入賞

I C 中山梨優・I D 川田心晴

I A特 山中優 ・I D 川津璃子

I B 田邊優 ・II D 平田明日羽

（山口真樹人）